

1. 内外政

- ・12日、レアンカ首相は、7月21日よりロシアがとっているモルドバ産農産物の輸入制限処置に関連し、農業分野への支援策を発表。
- ・12日、シェフチューク「沿ドニエストル共和国大統領」は、同「共和国」は隣国への侵攻は準備していないが、侵攻された場合の反撃は準備できている旨発言。
- ・13日、モーザー駐モルドバ米国大使は、ティラスポリを訪問、シェフチューク「沿ドニエストル共和国大統領」と会談し、ウクライナとの国境状況等、地域情勢につき議論。

- ・14日、ブカレストにおいて、国営ヴェストモルドトランスガス社及びブルーマニアのトランスガス社が、ヤシーウンゲン間ガスパイプラインの相互接続に関する協定に調印。
- ・14日、モーザー駐モルドバ米国大使は、モルドバのワインメーカーが米国で成功をおさめるには、何かしら特別な付加価値を提示すべき旨発言。
- ・15日、モルドバガス社の発表によると、2014年第1四半期におけるロシア天然ガスのモルドバ向けガス価格は、千立方メートルあたり374.38ドル。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)